



5月 3・4・5 歳児 クラスだより



国立ひまわり保育園
令和7年4月30日

≪ 3 歳児 もも組 ≫

- ・生活リズムを整え、安心してのびのびと過ごす。
- ・保育者や友達と一緒にのびのびと戸外遊びを楽しむ。
- ・生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。

新しいお部屋で、子どもたちが好きな遊びを見つけられるように、ブロックやトミカ、おままごとやパズル等、色々な玩具のコーナーを作りました。子どもたちはビュッフェのように、次々と遊びを見つけ楽しんでます。保育者が近づくと、「先生！見てみて！」と作った物をみせてくれるようになりました。新しく仲間入りしたお友だちとも、同じ遊びを選んだ同士で楽しむ姿もあります。新しい環境で、持ち前の好奇心を発揮しているもも組さん。これからも、子どもたちが「今日は、何して遊ぼうかな？」とワクワクするような環境を用意していきたいと思います。



≪ 4 歳児 ぶどう組 ≫

- ・保育者や友だちと関わって遊び、みんなと一緒にの楽しさを味わう。
- ・生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でやろうとする。
- ・戸外で身近な春の自然にふれたり、関わったりして遊ぶ。

ぶどう組での生活が始まり、1 か月が経ちました。担任や生活する部屋が変わり最初は少し緊張気味な子どもたちではありましたが、次第に生活に慣れて来た様子があります。様々なお友達とのかかわりの中で、仲たがいのする日も見られますが、「〇〇くんは、こうしたかった」「だけど、今はこうしたいんだ」など言葉で思いを伝えてみようとする姿もあります。気持ちの葛藤の中で友だちを思い言葉にして伝えたり、友だちの思いにも気が付けるような活動も取り入れていけたらと思います。また、5月には「バス遠足」を予定しています。早速地図を貼ってみると「わあ、ここいったことある！」「バスに乗るの？」「おべんとたのしみ」と期待に満ち溢れる子どもたちの様子があります。初めてのバス遠足を楽しみたいと思います。



《 5 歳児 すいか 組 》

- ・自分のやりたい遊びやそのための場所がしっかりと確保されるようにする。
- ・十分に遊び込める環境で心地よく遊びを楽しむ。
- ・遊びや体験などを共有し合い、協同し合って発展していくことを喜び関わり合っていく。

すいか組になって約一か月。日々を楽しく過ごしていく中でも、年長児としての自覚を持ち、他クラスの子たちと関わっている姿が多く見られます。初めての園生活や、慣れない環境に、ドキドキしている年下の子に対して、手をつないで遊びに誘ってあげたり、玩具の使い方や片付け方を教えてくれたりと、優しく接してくれる子どもたち。さらに最近では、午睡時にもも組さん、ぶどう組さんが安心して眠れるよう、寝かしつけを行ってくれています。年下の子どもたちとの関わりを通して、頼られることを喜び、自信を持って過ごすことが出来ています。今後も子ども達が自信をもって生活していけるよう見守りを行っていきます。



《お知らせ》

衣服、靴、オムツ、エプロンなど保育園で使用する全ての持ち物にご記名をお願いいたします。

爪が長いと自分やお友だちを傷つけてしまう可能性がありますので、長くないか、引っかからないか、尖っていないかなど、こまめに確認をお願いいたします。

